



校長室から

あまりにも突然の訃報をお知らせして、およそ2週間が過ぎました。未だに信じられない気持ちと、現実を受け止めて前に進まなければという気持ちが交互に降りてきます。

今月の朝会では、「恩返しと恩送り」という話をしました。子どもたちに、村上教頭先生の悲しいお知らせをした際、「悲しくても前を向いて、教頭先生が大好きだった、いつも元気で、誰にも優しく、何にでも頑張っている南小の皆さんの姿を、お空の上にいる教頭先生に見せてあげてください。それが、教頭先生への何よりの恩返しで、天国で教頭先生が安心して過ごせることだと思います。」と話したことを受けての話でした。

親切にしてもらったり助けてもらった時、その人に感謝の思いを伝えたりお返しをしたりする「恩返し」はすばらしいことですが、「恩返し」は恩を返したところで終わり、親切はつながりません。そこで、誰かから受けた恩（親切）をその人だけに返すのではなく、別の人にも送る「恩送り」をスーパーボランティア尾畑春夫さんを紹介しながら呼びかけました。

「恩送り」は相手は誰でも良いし、終わりもありません。送った「恩」はどんどんつながって、たくさんの人を幸せにします。いつかは自分や家族や友人に帰ってくるかもしれません。そういう「恩送り」の気持ちが広がってほしいと話しました。

南小から親切の輪が広がっていく様子を、村上教頭先生は笑顔で眺めてくれるでしょう。



尾畑春夫さん

ICT活用研究授業

10月20日（火）、川真田教諭が4年生の体育の授業でICTを活用した研究授業を行いました。今年度、電子黒板が全教室に配置され、来年3月には全児童1台のタブレットが導入されます。急速なICTの普及を受け、芳賀町では各校とも3回のICTを活用した研究授業を行う予定です。

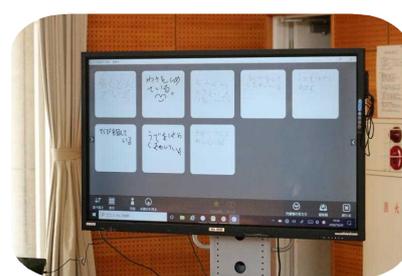
この日は、上手に二重跳びをする「こつ」を見つける授業でした。川真田教諭の指導とICT支援員さんのサポートにより、子どもたちは友達の動きをタブレットで撮影し、その動画を見ながら、二重跳びがうまくできる「こつ」を考えました。最後には、自分の見つけた「こつ」をタブレットに記録しました。川真田教諭が電子黒板に子どもたちのまとめを貼り付けて、みんなで授業を振り返りました。これから進んで行く方向性を明確にでき、確かな手応えを感じる授業となりました。



タブレットの操作を教わる



二重跳びの動画を撮影



電子黒板で振り返り

みんながわかる みんながわかる授業づくり

10月23日（金）、新型コロナウイルス拡大防止対応で延期になっていた、授業研究会を実施しました。昨年度から御指導いただいている東京家政大の石田淳一教授も、今年度はこの日が2校目の学校訪問ということでした。

今回の授業は1年1組、2年2組、3年1組で実施しました。コロナ対策で控えていたペア学習やグループ学習も取り入れながら実施しました。子どもたちは、意見をつないだり、友達の意見を補足したりと「学び方の約束」に従って、意欲的に授業に参加していました。どの学級でも思考の深まりを感じることができる授業が展開されました。また、今回は学習活動を1単位時間の45分にどう納めるかについても御指導いただきました。



ペアで話し合う1年生



グループで深める2年生



前に出て発表する3年生

稚魚の放流

10月27日（火）、秋晴れの下、3年生がウグイの稚魚を野元川に放流しました。今年度の開催については「野元川を愛する会」の皆様も心配していただきましたが、「命」について学ぶ大切な機会と捉え、実施していただきました。

3年生は、放流した60キロの稚魚のうち9割は鳥や外来魚に食べられてしまい、1割程度しか生き残れないというお話を真剣に聞いていました。自分が放した稚魚が元気に泳いで行くのを指さしながら、目を輝かせて眺めていました。小さな「命」しかし、かけがえのない「命」について学んだ3年生でした。



「野元川を愛する会」の皆様



「大きく育て！」と願いを込めて



自分が放した魚を指さす3年生

マスクの寄贈

11月10日（火）、西水沼で活動されている「半分美味しいの会」（食生活改善推進委員）の皆さんが来校され、子どもたちが喜びそうな素敵なお手作りのマスクを寄贈してくださいました。ありがたく使わせていただきます。



マスクの寄贈



いただいたマスク

福祉出前授業

11月10日（火）、社会福祉協議会のお骨折りで、3・4年生が福祉出前授業を受けました。講師は足が不自由で車椅子生活をされている佐々木清美さん（芳賀町）と目が不自由な大久保扶美子さん（日光市）と盲導犬オージ君でした。

佐々木さんは事故で、大久保さんは病気で突然身体が不自由になりました。障害をもつことになったことを受け入れられるようになるまでには時間がかかったこと。家にこもって人に会うのも嫌だった状況を変えてくれたのが、訓練センター等で出会った人たちであったこと。車椅子バスケットやお茶やお花、料理などを通して、前向きに生きられるようになったことをお聞きしました。

子どもたちは、盲導犬オージ君と一緒に大久保さんを誘導して歩いたり、車椅子の操作の仕方について佐々木さんから教えていただいたりしました。振り返りでは、全部指名しきれないくらい多くの質問が出ましたが、お二人は一つ一つ丁寧に答えてくださいました。

ハンディキャップをもつ方々の気持ち、そして、自分たちができることについて考える機会をいただき、また一回り心が豊かになった3・4年生でした。



大久保さんを誘導する4年生



車椅子で段差を超える3年生



質問する3年生

保健集会

11月11日（水）、保健安全委員会の計画で、保健集会が行われました。今年は、一堂に会して集会ができないために、オンラインで行いました。

「感染症から自分を守る」というテーマで、保健安全委員会の児童が順番に説明しました。感染症とは何か。どうしたら感染を防げるのか。そして、感染が確認された方々、濃厚接触者、感染症を防ぐために最前線で頑張ってくれている医療従事者が、不当な差別を受けずに、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちにしていこうための、シトラスリボンプロジェクトについて分かりやすく説明してくれました。

教室では、全児童に齋藤海峰養護教諭手作りのシトラスリボンが配られました。



発表を電子黒板で聞く児童



立派に発表した保健安全委員



配られたシトラスリボン

4年校外学習

11月13日(金)、4年生の校外学習を実施しました。例年は宿泊体験もありますが、今年度は日帰りとなりました。秋の森を散策したり、木工制作で世界に一つのルームプレートを作ったり、アスレチックでスリルを味わったりと教室ではできない体験活動を満喫しました。また、子どもたちは、おいしい手作り弁当に、舌鼓をうっていました。



ルームプレートづくり



全員そろって良い笑顔



アスレチックで壁登り

PTA廃品(資源物)回収

11月15日(日)の廃品回収では、PTA役員の皆様、環境整備委員の皆様を始め、多くの会員の皆様にお世話になりました。また、地域の方々にも絶大なる御協力をいただき、たくさんの資源を回収することができました。

回収資源の益金につきましては、子どもたちの安心安全や様々な教育活動に活用させていただきます。金額等が確定いたしましたら、「芳賀南小学校だより」でお知らせいたします。



アルミ缶を運ぶ皆さん

活躍の足跡

11月の賞状伝達は、以下のとおりです。敬称は略させていただきます。

☆下野教育書道展

毛筆の部 銀賞 阿久津 誉(2年)

奨励賞 關 花菜音(1年)、綱川 拓真(1年)、菊内かなえ(4年)、鈴木 胡來(4年)

森 文美(4年)、田中 李実(5年)、阿久津 晃(6年)、和田 佳大(6年)

入選 小井田莉奈(1年)、關 勇悟(1年)、須藤煌太郎(3年)、水沼 陸翔(3年)

大塚 麻央(3年)、関谷 瞳(3年)、黒崎 慶翔(4年)、関口 大新(4年)

武井 麻紘(4年)、中村 朱里(4年)、大根田蒼真(6年)、鈴木 天雅(6年)

関谷 京介(6年)、水田 智洸(6年)

硬筆の部 奨励賞 伊藤姫萌愛(2年)

入選 綱川 拓真(1年)

☆校長賞 53名

12月の主な行事

1日(火)	きらきら号(5年)、集金日	14日(月)	清掃週間(~24日)
2日(水)	朝会	16日(木)	芳賀町学力テスト
4日(木)	校外学習(3年)	24日(火)	校内給食委員会
14日(月)	安全点検・環境衛生検査	25日(金)	第2学期終業式

